導入企業数 150社を突破！

現場帳票の電子化に、Webアプリの「XC-Gate」を導入された企業の皆様の声。

保線業務に活用しています。**外でも夜でもタブレットなら作業がラク**です。紙は雨と風に弱いですから。
（鉄道関係　男性）

点検時に**過去の入力値との比較ができるので、入力ミスが事前に防げる**ようになりました。
（設備保全関係　男性）

出張中、ホテルでの報告書作成が大変でしたが、**現場でできるのでお客様への報告書提出が速く**なりました。
（プラント製造　男性）

利用端末が多いのですが、**バージョン管理をしなくていい**ので助かりました。
（一般製造業　男性）

利用者データベースにもなるので**情報共有がラクに**なりました。
（介護・福祉系　女性）

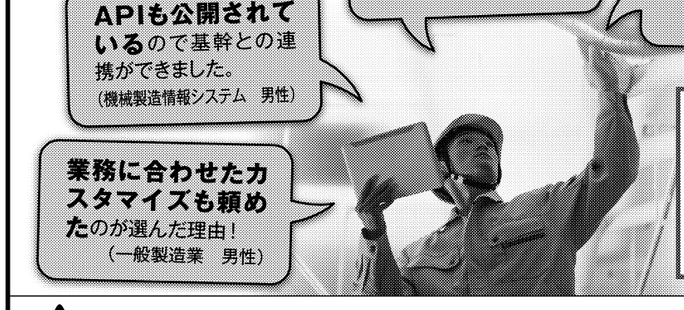
普通のパソコンでも、タブレットでも使えるので**端末選択の幅が広がりました。**
（フランチャイズ　女性）

画面編集はExcelにコピペでいいので、作成が簡単なため手分けして予定どおり作成できました。
（食品製造業　男性）

自社の製品が多数存在するので、**マスタで登録できるのは、めちゃくちゃ便利！**管理もラクです。
（オフィス機器保守　男性）

APIも公開されているので基幹との連携ができました。
（機械製造情報システム　男性）

業務に合わせた力スタマイズも頼めたのが選んだ理由！
（一般製造業　男性）



XC-Gate（エクシーゲート）とは

XC-Gateは、Microsoft Excelで作成した帳票をタブレットなどのブラウザ表示用に変換するシステムです。
ただ変換するだけでなく、プルダウンや文字入力など、多彩な機能を付加することができます。

特許取得済

Technotree 株式会社テクノツリー　お問合せ 078-948-2300　詳細情報 www.tt-websolution.jp
本社 〒674-0074 兵庫県明石市魚住町清水534番地の7 TEL: 078-948-2300　東京 TEL: 03-6240-9561　名古屋 TEL: 0562-45-3155　大阪 TEL: 06-6131-5715

三ツ星ベルトの高機能製品

伝動ベルトおよび関連機器
搬送ベルトおよびシステム・関連製品
エンジニアリングプラスチック
発泡射出成形品
防水・遮水材
ガラス用透明着色剤
金属ナノ粒子関連製品

MITSUBOSHI 三ツ星ベルト

三ツ星ベルト株式会社　神戸本社／〒653-0024 神戸市長田区浜添通4丁目1番21号　東京本社／〒103-0027 東京都中央区日本橋2丁目3番4号
海外拠点／アメリカ　ドイツ　ポーランド　シンガポール　タイ　インドネシア　台湾　中国　インド　ベトナム　www.mitsuboshi.co.jp

産学官の絆強まれ！

兵庫・神戸では地元中小企業に対し連携を強めようとする大学などの研究機関や、具体的な成果を創出しようとする産業支援機関の動きが活発化している。価格と技術で世界と競争を強いられている中小企業にはこうした支援が欠かせない。これら研究機関や支援機関の新たなの取り組みを追った。

実効性ある連携を追求

阪神地域活性化へ　兵庫県大とAMPI

兵庫県立大学産学連携・研究推進機構（太田勲機構長）は9月10日、近畿高エネルギー加工技術研究所（AMPI、兵庫県尼崎市、牛尾誠夫理事長）と連携協定を結んだ。研究機関との協定は今回初となる。AMPIのレーザーや薄膜の加工技術や材料評価技術に同大学の切削・研削や設計などの先端生産加工技術を加えることで企業との連携可能な分野を広げ、技術の高度化を進めて阪神地域の活性化を図るのが狙いだ。

連携は同大学のコーディネーターがAMPIに同行し、尼崎工業会（中村孝理事長）の会員企業や兵庫県阪神南県民局がAMPIとの協力で実施している「リーディングテクノロジー実用化支援事業」の支援企業を訪問する。ニーズや課題を探り、当該分野の教員とのマッチングを進め技術開発や販路開拓を支援する。AMPIが発掘した企業ニーズの共用化を進め、同大学の研究に生かすほか、AMPI主催の技術相談会やセミナーへの教員やコーディネータを派遣する計画だ。

兵庫県大はこれまで経済・経営分野では尼崎市を中心とした阪神地域と連携を密にしていたが、技術分野では工学部が尼崎市から遠い姫路市にあるため、関係が手薄だった。太田勲機構長は「まずは一緒に企業を回る。姫路で好評な実習付きセミナーなどを尼崎でも開きたい」と意気込む。一方、牛尾誠夫理事長は「AMPIの研究開発や技術支援に兵庫県大の〝知の集積〟が加わればパワーアップする。より先端的で広い分野の技術相談が可能になり多くの企業の支援につながる」と今後の実効性のある連携を楽しみにしていた。

握手する太田機構長㊧とAMPIの牛尾理事長

フォーラムで情報交換　神戸大

一方、神戸大学工学部は11月21日に地域の中堅・中小企業との産学連携事業「産⇔（トウ）学フォーラム」を開く。企業の技術や製品展示、学生の企業への派遣、大学シーズの紹介、若手教員による技術相談やマッチングなどで双方の技術力や研究力の発展を図るのが狙いだ。地域の企業と大学が相互で情報を交換する試みは初という。

フォーラムは大学側が工学研究科、システム情報学研究科、連携創造本部から全教員約200人が参加する。企業の募集は県内各種団体などを通じて7月中旬まで働きかけた結果、大手4－5社を含む39社の地元企業の出展が決まっている。9月からその39社のうち32社で大学3年生から修士課程の学生のインターンシップ（数日から1週間）が始まっており、フォーラム当日にその学生らが派遣先企業の魅力を紹介する。大学シーズの展示や若手教員による技術相談やビジネスマッチングも予定する。今後は4年ごとにシーズを紹介する「工学フォーラム」と合わせて2年おきの交互開催を計画しており、結果に応じて規模、内容、回数などに柔軟に対応する方針だ。

フォーラム開催の背景には大学の地域における社会的な役割として優秀な人材の輩出だけでなく、地元企業との連携による産業の高度化で地域の活性化を求める声が高まっている点にある。これまで神戸大学は「KOBE工学サミット」などさまざまな取り組みで地域との関係を深めてきたが、地元中小企業とは手薄だった。「すぐには難しいが、できる限り身近な存在になり、連携を通して教員の意識改革にもつなげたい」（冨山明男大院教授）と期待する。

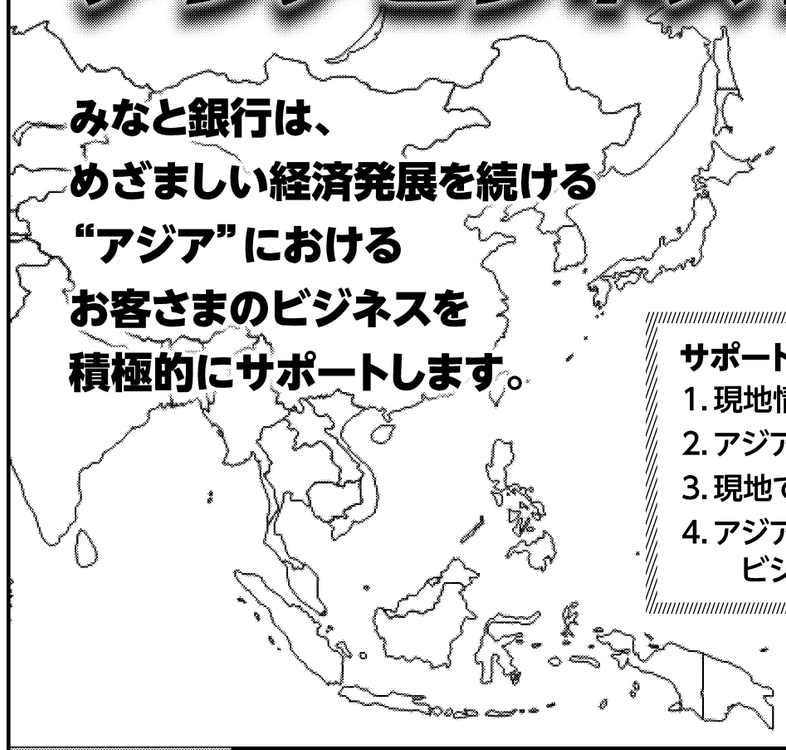
NIROが神戸会議所会館に移転　支援効率化目指す

産業支援機関でも支援強化の動きが出てきた。中小企業を技術面で支援してきた新産業創造研究機構（NIRO）が8月、経営支援や販路開拓で支援する商工会議所が入る神戸商工会議所会館に移転した。今後は連携を深めながらそれぞれの特徴を生かし、企業支援を活発化する。具体的にはNIROが進める「マイクロ・ナノバブル利活用推進事業」に会議所が会員企業の参加を促すほか、会議所の「川上・川下ビジネスネットワーク事業」にNIROが技術面での支援を本格化する。このほど開かれた移転報告会で「企業は今後より一層NIROを活用してほしい」（橋本芳純NIRO専務理事）と述べる一方、村田泰男神戸商工会議所専務理事は「相互機能をより高めて企業を強力に支援したい」と力を込めた。

NIRO移転報告会（8月26日）

モノづくり磨き新産業創出へ
兵庫・神戸産業界

みなと銀行の
アジアビジネスサポート



みなと銀行は、
めざましい経済発展を続ける
“アジア”における
お客さまのビジネスを
積極的にサポートします。

サポート内容
1. 現地情報の提供、市場調査
2. アジア進出サポート
3. 現地での資金調達支援
4. アジア関連セミナー
　ビジネスマッチング

お問い合わせ　みなと銀行　営業企画部 アジア室　〒651-0193 神戸市中央区三宮町2丁目1番1号　TEL:078-333-3283

KOBELCO 神戸製鋼グループ

時代の要請に応える
環境ソリューション企業

地球環境保全や生活環境改善に役立つ
技術の提供を通じて、社会に貢献します

主な営業品目
■工業用水及び上・下水道の設備及び装置、超純水・純水・工場用水及び廃水の処理装置、下水汚泥・食品等有機廃棄物の資源化設備
■工業用・空調用冷却塔
■都市ごみの焼却・溶融施設(流動床式ガス化溶融炉、ストーカ式焼却炉、流動床式焼却炉、プラズマ溶融炉)、粗大ごみ・各種リサイクル施設
■PCB廃棄物処理施設
■廃棄物の最終処分場運営
■化学工業用機器・装置、粉粒体機器・装置、醸造用機器、水素酸素発生装置
■環境分析

株式会社 神鋼環境ソリューション

本　社／〒651-0072 神戸市中央区脇浜町1丁目4-78 TEL(078)232-8018　東京支社／〒141-8688 東京都品川区北品川5丁目9-12(ONビル) TEL(03)5739-5800
大阪支社／〒541-8536 大阪市中央区備後町4丁目1-3(御堂筋三井ビル) TEL(06)6206-6751　九州支社／〒812-0012 福岡市博多区博多駅中央街1-1(新幹線博多ビル) TEL(092)474-6565
支　店／北海道・東北・名古屋・中国　海　外／ベトナム(現地法人)・デュッセルドルフ(事務所)

http://www.kobelco-eco.co.jp